

平成29(2017)年度 善行賞受賞者

No.	地区	学校名	氏名(学年)・団体名	理由	
1		福島西高等学校	野球部	清掃活動による地域貢献として、12月下旬に「クリスマスごみ拾い」と称して全員がサンタクロースの格好をして町中のゴミ拾いを行った。この活動は今年度で3年目になるが、昨年度には活動を見た地域の方々から一緒にゴミ拾いをしたいという申し出があり、総勢50名を超えるサンタクロースのゴミ拾いとなった。	
2			吹奏楽同好会	演奏披露による地域貢献として、5年以上に渡り、老人介護施設や保育園、地域の文化祭でコンサートを行い、地域に貢献した。老人介護施設「恵風園」でボランティア活動とコンサートを、こじか保育園ではクリスマスコンサートを毎年実施している。吉井田文化祭にも継続して参加しており、地域の人たちに喜ばれている。	
3	県北	川俣高等学校	家庭クラブ JRC同好会	高齢者福祉施設でのボランティア活動、赤い羽根共同募金活動、町内の行事への協力(川俣町健康づくり大運動会、邦楽祭、コスキンパレード等)を継続し、入所者の方々に喜ばれる活動や地域の活性化に貢献した。	
4		安達東高等学校	家庭クラブ	社会福祉協議会で行っている地域高齢者宅(90戸)への宅配弁当に添えて、手作りのプレゼントやカードを作り、月1回程度贈っている。(12年継続)	
5				社会福祉協議会主催の「ふれあい昼食会」に参加し、レクリエーション活動やプレゼント贈呈を行い、利用者との交流を積極的に図っている(7年継続)	
6		本宮高等学校	國分捺希(3年) 武藤名菜穂(3年)	11月中旬、コンビニエンスストアでアルバイト中に、客が成り済まし詐欺に巻き込まれ、不当な支払いを要求されていることに気づき、それを店頭で確認して未然に防いだ。郡山北警察署から感謝状を贈呈されるなど、社会貢献活動として顕彰された。	
7		県南	田村高等学校	山田蒼也(3年) 宗像 矯(3年) 田邊翔輝(2年) 田邊夢叶(1年)	平成29年6月19日、JR三春駅ガソリンスタンド横の空き地でうずくまって助けを求めている80歳の男性(富岡町出身で震災後三春町内の仮設住宅に独居)を柔道部員4名が発見し、苦しそうな様子から一刻を争う状況と判断して救急車を呼び、到着までその場に留まり対応した。その後男性は病院に搬送されて一命を取り留め、一週間後に退院し、学校を訪れて元気な姿を見せた。
8			白河実業高等学校	浦井正二(3年) 伊勢野魁人(3年) 佐藤歩夢(3年) 鈴木涼助(3年) 水野谷涼介(3年) 吉田龍生(3年)	学校近隣の自治会でゴミの散乱に困っていたため「ゴミ回収ボックス」を製作、設置した。
9		大沼高等学校	演劇部	震災後、6年間に渡って数多くの公演依頼を受け、幼稚園・小中学校や各自治体等、多方面で活動した。	
10	会津	喜多方高等学校	野球部(1・2年生18名)	宮諏訪神社例大祭(8月3日)において、装束を着用して御輿を担ぎ、御輿の先導も行って猛暑の中で喜多方市内を練り歩いた。地域社会への貢献として例年実施している活動である。	
11			吹奏楽委員会	毎年3月、障害者介護施設しののめ荘の方々へのボランティア活動として慰問演奏会を実施している。	

No.	地区	学校名	氏名(学年)・団体名	理由	
12	いわき	磐城高等学校	宮島佑斗(3年)	平成29年9月29日17時30分頃、帰宅途中、市内中央台において車道の中央線付近を歩行している高齢男性を発見。交通量が多く危険な状態であったため、男性を安全な場所まで誘導し、交番まで付き添い届け出た。男性は捜索願の出された行方不明者であり、中央警察署長から感謝状が贈呈された。	
13		平商業高等学校	佐藤京太(3年)	行方不明になっていた高齢男性を発見・保護した。平成29年9月29日17時30分頃、帰宅途中に友人と一緒に中央台の車道を歩いている高齢男性を発見。歩道に誘導して安全を確保し、交番に送り届けた。中央警察署長から感謝状が贈呈された。	
14		湯本高等学校	鵜沼大悟(2年)	J R湯本駅の歩道橋から転落して、怪我をした老人を見つけ、救急車を呼んで対応した。	
15			下山田佳奈(2年) 遠藤菜々子(2年)	いわき陸上競技場近くのバス停付近で、老人が四つん這いで歩いているのを発見した。熱中症の疑いがあり、コンビニエンスストアのベンチに連れて行き、飲み物を購入して飲ませるなどの対応をした。	
16			志賀琉哉(1年) 鈴木大介(1年) 鈴木慧斗(1年) 江尻 翼(1年)	平成29年5月20日、4名でまねき猫平店に入店していた際、女子高校生から「友人が外国人と部屋で2人きりになってしまっているのを助けてほしい」と助けを求められた。店員に連絡して警察に通報した。警察により女子高校生は解放され、事なきを得た。	
17		小名浜高等学校	演劇部・商業部	熊本県と東京都において「小名高シアター震災復興支援プロジェクト」を実施。(演劇部による「三人家族」上演を通して東日本大震災による原発事故がもたらしたものを紹介し、商業部が県内高校生の開発商品の物販を行なった)	
18		いわき海星高等学校	高木翔太(3年) 四家 渚(3年) 鈴木玲美(3年) 荷見明香(3年) 南館カオリ(3年) 鈴木圭介(3年)	入学時からいわき市の伝統芸能「じゃんがら念仏踊り」を継承するチーム「じゃんがら」に所属し、震災後の地元復興と鎮魂、風評被害払拭のため、3年間「じゃんがら念仏踊り」を披露してきた。また、老人ホームや介護施設などにおいても「じゃんがら」を披露し、活発にボランティア活動を展開し、社会貢献に努めた。	
19		磐城農業高等学校	日渡勇樹(2年)	平成30年1月24日午前7時30分頃、学校前の信号機のある交差点で自動車にはねられた他校の生徒の救助に当たった。事故直後に負傷した生徒に駆け寄って励ましの言葉をかけるとともに、頭部からの出血に自分のセーターを脱いで止血を行うなど、冷静かつ思いやりのある対応を見せた。	
20		相 双	ふたば未来学園高等学校	吹奏楽部	福島未来ミュージックプログラムによりニューヨークで演奏披露を行い、福島の復興を世界にアピールした。また、開校から双葉郡の市町村で開催されたイベント等に積極的に出演し、地域の復興の一翼を担った。今後も活動を継続する予定である。
21				野球部	開校当初から地域のゴミ拾い活動を継続的にを行い、広野町の美化に貢献した。
22	演劇部			震災や福島の現状を題材とした劇を、東京やいわきで上演したことで、復興への関心を集めるとともに、多くの人々に感動を与えた。	